



阿宮地区の人口

(上出西1を含む)

令和7年 9 月末時点 (前月末比)	令和6年 9 月末
世帯数 138 戸(±0)	142 戸
人 口 365 人(-2)	388 人
男 性 162 人(-2)	173 人
女 性 203 人(±0)	215 人

11 月のクラブ活動

眺俳句会	8 (土)
グラウンド・ゴルフ	毎週 (水・土)
習字の会	7 (金) 21 (金)
阿宮川柳会	19 (水)
カローリング	12 (水) 26 (水)
フォークソング阿宮里	10 (月)
ビーズの会	随時
阿宮神能会	随時
あぐ花の会	随時

11 月の主な行事

1 (金) 人権研修 (上阿宮2)
2 (土) 人権研修 (下阿宮2)
7 (金) ミニまめこルーム
9 (日) 原子力防災訓練
12 (水) ふれあいサロン
19 (水) コミカフェ
26 (水) はつらつさろん
27 (木) 平成会
()

燃えないごみ

★水曜日です★

埋立ごみ

空き缶 (飲料用)

11 月 5 日

ペットボトル

11 月 12 日

破碎ごみ

11 月 19 日

空きびん

11 月 26 日

阿宮地区社会福祉協議会講演会

阿宮地区社会福祉協議会

阿宮地区社会福祉協議会 会長 山田 勉

阿宮地区社協の今年度事業として、斐川町名島在住で活動されている狩野京子さんに、『知っておきたい!「介護」と「看取り」』と題してお話をいただきました。

狩野さんは元島根県立中央病院の看護師さんで、定年退職後に「看取り師」「納棺師」として活動され、元同僚の看護師さんと2023年9月に全国165番目、全国訪問ボランティアナースの会「キャンパス出雲」を立ち上げられました。また、参加型納棺「さくらびと」の活動もされています。キャン=できる、ナス=看護師のナースを足した造語のネーミングとのこと。

「入院中だが一時帰宅したい」「一時的な介護代行」「家で看取りたいが家族が一人しかいない」など、身体支援・外出支援・受診同行・家族支援など、公的な制度上出来ない部分を有償ボランティアとして寄り添う活動をされています。

納棺師としては、ご自宅で亡くなられた場合「死後の処置」をご遺族の想いや希望に寄り添い、最後の別れを笑顔で迎えられるよう取り組んでいらっしゃいます。

狩野さんのトレードマークはピンクのTシャツ! ユーモアたっぷりにお話され、参加者は元気をもらいました。

阿宮地区は4人に1人が後期高齢者。地域で支え合う介護の仕組み作りが必要だと感じました。



阿宮地区人権・同和教育現地研修会

阿宮地区人権・同和教育推進協議会

9月30日(火)人権同和教育の現地研修を目的に琴浦町赤碕文化センターを12名で訪ねました。講師の澤田さん、米田さんから、差別を受けながらもどのようにして生計を立てながら暮らしてきたのか。大水が出るたびに家が流されるなどの水害に見舞われ、安全に暮らす村にする、子どもたちの命や暮らしを守るために町づくりをする強い思いなど、澤田さんの力強く発せられる言葉で出上集落住民の軌跡を知ることとなりました。

フィールドワークでは、ほ場整備事業、小集落地区改良事業、成美橋拡幅事業など現地で説明され、すべての人々の命を守り、生活をつくる取組を進められてきたなかでの人々の葛藤を自身の体験談を交えながらお話をいただきました。

実際に現地を見て地区の歴史や理不尽な差別の実態、大切にしている思いなど直接学ぶことはどんな講演を聞くより意義深く、学ぶこと、行動することの大切さを考えさせられました。

会長 保科篤良



ふれあいサロン(えびす会) 10月8日

ふれあいサロン

木綿街道・国登録有形文化財(本石橋邸)・レディースファッションおむらや・だいす村と平田方面へ出掛けました。

本石橋邸では、ガイドさんの案内のもと出雲流庭園を眺められる奥座敷(書院)、茶室、特徴的な出雲格子窓などを見学しました。小雨の中街道の散策もしました。

おむらやでは【歓迎 阿宮地区の皆様】と貼り紙がされており嬉しいサプライズ! 特別に貸切で買い物をしました。

最後はだいす村でお揚げや豆腐などを買い、お店より、おからのプレゼントも頂きました。みなさん手にいっぱいのお土産を持って笑顔あふれる楽しい思い出となりました。



自衛消防訓練 9月25日

総務・安全部

「2階の調理室から火が出ている! 火事だ! 逃げてください!」と職員が大声で叫び、指示者のもと来館者を避難誘導し、119番へ訓練火災の通報をしました。「もしもの場合は冷静に判断し行動できるのか?」と思い、訓練の重要性を感じました。

避難訓練後は水消火器を使い、的に向かって放水する訓練を行いました。今後も日々安全点検をおこなってまいります。



ご寄付
お礼

滝川 悟様(故人 黒田信夫様)上出西1自治会
阿宮地区自治協会と阿宮地区社会福祉協議会に香典返しとしてご寄付いただきました。
ありがとうございます。

アルミ缶回収量 9 月分

20 kg (前月 40 kg)

引き続きご協力をお願いします!
出雲市環境保全連合会 阿宮支部

裏面にも
記事が
あります
ご覧
ください

発行日: 令和7年(2025) 10 月 20 日

発行: 阿宮コミュニティセンター 総務部

〒699-0611 出雲市斐川町阿宮2323-2

TEL.0853-72-9142 FAX.0853-72-9152

Mail: agu-cc@local.city.izumo.shimane.jp

阿宮神能保存会公演 旧原鹿豪農屋敷

阿宮神能保存会

10月5日(日)原鹿の旧豪農屋敷で斐川神楽祭りが開催され、日が落ちた日本庭園の舞台という厳かな雰囲気の中で、阿宮神能保存会は「塩清め」「日御碕」「八戸」の演目を披露し、ご来場いただいた110名の皆さんに神楽を楽しんでいただきました。今後の予定は12月7日(日)「スサノオホール」佐田町で開催される第57回出雲市無形文化財発表会に出演します。社中によって衣装ですが笛、太鼓、舞の違いなどが楽しめます。是非一度ご覧いただきたいと思います。

阿宮神能保存会 梶田修一



阿香里のひろば整備 10月18日

阿宮のみなさま

自治協会役員、グラウンドゴルフ、明朗会の皆さんら38名のご参加をいただき、阿香里のひろばの整備作業が行われました。用水路や周囲の草刈り、広いひろばの草刈り、刈草の撤去など分担しながら手際よく作業を進められ、水が溜まりやすいところに砂入れまでしていただきました。みなさんには早朝より大変お世話になりました。ありがとうございました。



人権標語審査会 10月16日

阿宮地区人権・同和教育推進協議会

審査会は三加茂和久様、保科篤良会長、長崎浩昭副会長、江角幸春センター長の4名で行いました。地区のみなさま25名(45作品)のたくさんのご応募がありました。心打たれる素晴らしい作品をありがとうございました。優秀作品は人権週間(12月4日~10日)に合わせ、各ご家庭へ配布いたします。

★最優秀賞 笠谷 真文さん(上阿宮3)

『阿んぱんマン・ウーマンいつもの笑顔で明るい地域』

★優秀賞 保科 章子さん(下阿宮1)

『噂話回りまわって誇張され人の心を傷つける』

★優秀賞 江角 敏子さん(上阿宮3)

『考えて!差別を受けるその痛み』

★優秀賞 小学生の部 福田 莞土さん(下阿宮3)

『ぼくの気持ち君の気持ちみんな大切にしたい』

城平山登山道整備

阿宮の宝保存事業

城平山登山イベント(11月1日)に向けて、9月7日・25日・27日の3日間で、延べ13名の皆さんにご協力いただき、登山道の整備・草刈り作業を進めました。

登山道整備の準備となる荷揚げ作業は、道具類はもとより土留め資材や鉄筋など重い荷物を山頂付近の現場まで、暑いなか往復しながら運び上げる作業にご苦労いただきました。山頂に続く約20メートルは道幅が狭いうえに足場の悪い危険箇所所未解決課題のひとつでしたが、9月27日(土)お昼過ぎまで作業をしていただき整備することができました。ありがとうございました。他の地区の方も応援していただくなど、皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

これから紅葉シーズンを迎えます。たくさんの皆さんに山頂からの素晴らしい眺めを楽しんでいただきたいと思います。

阿宮富士保存会 笠谷真文



秋の交通安全運動 9/21~9/30

交通安全

自治会の交通安全委員の皆さま、子ども見守り会、青色防犯パトロールの皆さま、交通安全期間中ののぼり旗の掲出、安全立哨などお世話になりました。



晩俳句会

陽	刈	退
の	り	院
宿	終	日
の	へ	橋
萩	て	穂
の	安	一
零	堵	本
る	の	母
日	ご	の
暮	と	手
れ	秋	へ
か	の	
な	雨	
中	池	山
島	田	田
悦	い	
子	さ	魁
	子	

阿宮川柳会

同	値	ゆ
居	り	で
は	初	乗
ね	め	が
じ	な	一
い	く	番
ば	て	人
ば	は	氣
細	な	う
く	ら	ち
堪	ぬ	の
え	三	家
合	夫	
う	妻	
福	星	保
田	野	科
快	弘	紫
柳		苑